

経済財政モデルに関する有識者会合（概要）

日 時：平成 20 年 10 月 27 日（月）14:00-15:30

会 場：中央合同庁舎 4 号館 810 号室

出席者（五十音順）：

小塩隆士	神戸大学
鈴木 亘	学習院大学
中村 洋一	法政大学
山澤 成康	跡見学園女子大学

事務局：

齋藤 潤	計量分析室	室長
坪内 浩	計量分析室	参事官
松多 秀一	計量分析室	企画官 他

配布資料：

- ・「「経済財政モデル」と試算の紹介」説明資料
- ・経済財政モデル（第二次再改定版）（平成 20 年 3 月内閣府公表）
- ・「日本経済の進路と戦略－開かれた国、全員参加の成長、環境との共生－」
参考試算（平成 20 年 1 月 17 日経済財政諮問会議提出資料）
- ・「進路と戦略」対象期間中の経済財政の展望 ～経済財政モデルによる試算結果～
（平成 20 年 7 月 22 日経済財政諮問会議 有識者議員提出資料）
- ・「給付と負担の選択肢について」
（平成 19 年 10 月 17 日経済財政諮問会議 有識者議員提出資料）

議事概要：

1. 冒頭、齋藤計量分析室長からあいさつがあった後、議事概要、資料について公表する旨了承された。
2. 次に、事務局より説明資料に基づき説明があった。

3. その後、意見交換が行なわれた。出席者からの主な意見は以下の通り。

- モデルの方程式体系の中で、「均衡」概念が様々な意味で使われているのではない
か。
- 現行の輸出の定式化では、内需が弱い時に、海外需要もない状況では、輸出は過
大推計になる可能性がある。
- 長期シミュレーションを行なう際に、一定の条件を与えてモデルを回した答えが
正しいインプリケーションを持っているのかを確認しておく必要がある。
- 短期的なショックに対して、長期的な経路に戻っていくのかどうかチェックすべ
き。
- 為替レート関数について、短期的な動きを見るために金利も考慮に入れるべき。
- 一人当たり医療費関数について、①70歳以上についてはその内部での人口構成変
化を考慮してはどうか、②実効自己負担率の代わりに現実に直面する自己負担率
を用いて推計を試してはどうか、③医療費データのサンプリングバイアスを考慮
した推計方法を考えてはどうか、④診療報酬のデータ作成を工夫してはどうか。
- 資本ストックについて、粗ストックを用いているのは適切か。また、生産関数を
推計する際に帰属家賃などについて別途の扱いを検討したらどうか。
- 輸出入関数の価格（為替レート）項のラグが長すぎないか。
- 正規と非正規、フルタイムとパートタイム労働者の違いを考慮に入れることを検
討したらどうか。

(以上)